

第358号

発行
浄土真宗
心光寺
奥原曇龍
倉敷市早高426
☎(086) 420-1311



晩秋に学ぶ

ばんしゅう まな



カット：本多紘子

秋も一段と深まり、霜の降りる季節となりました。散りゆく木の葉に寂しさを感じる今日この頃ですが、皆様いかがお過ごしですか。心光寺も秋の報恩講法要を迎え、お接待の準備に大忙しです。

10月1日から消費税が8%から10パーセントに5年半ぶりに引き上げられました。飲食料品などが軽減税率制度の導入で税率が8%のまま据え置かれましたので、中小の小売店ではレジでの商品の税率に戸惑いを見せています。私たち消費者も早く慣れたいですね。

10月9日、スウェーデン王立科学アカデミーは今年のノーベル化学賞を、リチウムイオン電池を開発した日本の吉野彰・旭化成名誉フェロー(71)と米テキサス大のジョン・グッドイナフ教授(97)、米ニューヨーク州立大のスタンリー・ウィッテンガム特別教授(77)の3氏に贈ると発表しました。愚僧の住む倉敷市には旭化成の大きな水島工場があり、心光寺の門徒さんも多くさん勤めていますので、吉野彰氏の受賞に心から祝福したい気持ちでいっぱいです。

小型で高性能なリチウムイオン電池は、充電して繰り返し使えるので、スマートフォンから電気自動車まで使われるようになり、再生可能エネルギーを蓄えて化石燃料に頼らない社会を実現させつつあると

*心の悩み・信仰の相談は月曜日から木曜日の午前中に気楽にお電話下さい。

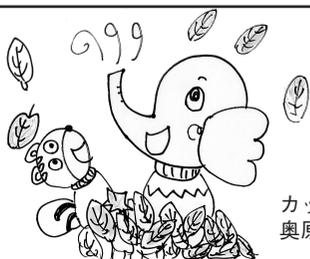
評価されたのです。利益を優先する企業の研究所での電池開発は苦勞の連続でしたが、人類の生活革命をもたらす、再生可能エネルギーの研究を世界に評価された吉野彰氏。本当におめでとうございます。明るいニュースがあれば、暗いニュースも続きます。10月12日午後7時に伊豆半島に上陸した大型台風19号は、東日本を縦断し、記録的な豪雨の影響で長野県の千曲川、茨城県の久慈川・那珂川、宮城県の阿武隈川等の52河川73カ所の堤防が決壊し、広域に浸水被害がありました。台風の死者は12都県で82人、行方不明8人という大災害となり、浸水による大量の災害ゴミが復旧をさらに難しくしています。

地球温暖化の影響で、年々に台風が大型化し、過去にない強風が吹き荒れ、電柱が倒れたり、民家の屋根が吹き飛んだりする被害。また集中豪雨による土砂崩れや河川の氾濫による浸水被害など、想定外の災害が、日本だけでなく、世界中で起きています。これは、私たちの心の汚れが、地球の環境を破壊し、地球の生態系を狂わしていると思えてなりません。人間の便利さや豊かさへの考え方を見直そうよ。

『史記』に「禍福は糾える繩の如し」とありますが、禍が福となり、福が禍のもとになったりして、禍福はまるで互いにより合わせたり、福が禍のもとになったりして、幸も不幸も変転するという意味です。最近の異常気象による大災害は、私たちが突然の不幸に陥れる禍ですが、この禍から自然と共存する謙虚な生き方を学び、人と人が支え合い励ましあえる絆が深まれば、人間としての福が巡ってくると思えます。

『涅槃経』をもとに、弘法大師空海の作と言われる『いろは歌』をご存じですか。「色は匂へど散りぬるを わが世誰ぞ常ならむ 有為の奥山今日越えて 浅き夢みじ酔ひもせず」と、昔はひら仮名を学ぶとき使われました。形あるものはいつか消えゆき、私も死んでいく。迷いの世界は奥深い、今こそ覚りに目覚めよう。浅い夢のような人生に酔いしれず、自分は何のために人間として生きているのか。人間とは、を真剣に考えようという歌でもあります。合掌(奥原曇龍)

『災難が押し寄せてくる時代こそ 人と人とが助け合おうよ』 どんりゅう



カット：奥原綾

ともしび説法

日時・十二月 六日(金)・午後一時から午後四時・早高の本堂。
十二月三十一日(火)・除夜の鐘 午後三時~四時・鐘楼堂。
一月 一日(水)・午後一時から午後四時・早高の本堂。
場所・倉敷市早高426 新本堂 電話086-420-1311

ともしびを読みたい方、お寺についてもっと知りたい方 [心光寺 倉敷 検索](#)



お釈迦様ものがたり 37

お釈迦様は、旧友の五比丘を尋ねて、インド最大の王国であったカーシー国の首都ベナレスを訪れたのは、聖河ガンジスに沿って、水陸交通の要衝であり、裕福な貿易上人が集まり、また静かな森に恵まれ新進気鋭の哲学者や修行僧がたくさんいたからです。

ベナレスは現在でも、ヒンズー教の聖地であり、商業都市であり、観光地であり、ここで死を迎えるためにヒンズー教徒の人たちが待機する宿もありました。愚僧もベナレスのガンジス川河畔に行き、大勢の人が朝早くから沐浴する神秘的な風景に感動しました。

お釈迦様は、ベナレスで旧友の五人の比丘を帰依させた後に、長者の子ヤサを仏弟子として出家させました。突然に姿を消してしまつた息子のヤサを探してお釈迦様の所を尋ねてきた父親も、お釈迦様の説法を聞いて感動し在家信者となります。続いてヤサの母親と妻も在家信者になりました。

やがて、ヤサが出家したことがベナレスの町に広まると、他の長者の子にも大きな影響を与え、「ヤサほどの聡明な者が出家したのなら、素晴らしい教えに違いない」と友人四人が続いて説法を聞き出家しました。

さらに、ヤサにはベナレスの町に五十人の友達があり、いずれも裕福な商人の子息たちでした。彼らもヤサの出家を聞き、お釈迦様の説法を聞いて仏弟子となります。

その後、お釈迦様はかつてさとりを開いたマガダ国のウルヴェーラー村(ブッダガヤ)に向かいます。そこには、すぐれた三人のバラモン教の指導者がいました。カッサパという三兄弟で、出家して林間に住み、火神に仕え、長兄は弟子五百人、次兄が三百人、末弟が二百人の門人を有し、この千人の指導者としてマガダ国で有名でした。国王を始め世人から絶大な尊敬を受けている彼らを、お釈迦様は仏教に帰依させます。合掌(奥原曇龍)

柿実る晩秋の庭に夜風吹き月影宿るともしびの寺

田辺多恵子



9月29日 総代さんたちの法要前の仏具磨き

ともしび法話

実りの秋です。お寺の庭の甘柿も熟しお話しそです。10月の大型台風19号は関東や東北にかけて甚大な災害となり、被災者の方々に心よりお見舞い申し上げます。11月3日(日) 秋の報恩講法要は親鸞聖人を慕う場です。お気軽にご参加下さい。心光寺坊守(ぼうもり) 奥原 博子

10月10日に母の玉枝が、父の待つている浄土へと旅立っていきました。3歳で母を亡くし、六歳で父も亡くし、親戚に預けられ育てられた母ですが、いつも明るく前向きに91歳まで生き、感謝しています。葬儀には曇龍先生、有り難うございました。倉敷市中島 三宅 律子

11月3日、心光寺の法要の午前中に催しもので出演するピアノ&サクソ演奏のメロディアです。誰でもが気軽に聞ける演奏をします。信者以外も参加OKです。メロディア 平田綾香・平田千尋

悪人も善人もみな救われる
親鸞聖人の教えは尊し
倉敷市早高 簗田れい子

ともしび説法

日時・十一月 三日「日曜日」 午前十時半から午後四時頃まで
報恩講法要。ピアノ・サクソ演奏等、儀式、仏教講演。
場所・倉敷市早高四二六 心光寺(しんこうじ) 本堂にて
電話・(086)420-1311 駐車場有り

○ともしび説法・お寺の行事予定
十二月 六日(金)・午後一時から午後四時・早高の本堂。
十二月三十一日(火)・除夜の鐘 午後三時〜四時・鐘楼堂。
一月 一日(水)・午後一時から午後四時・早高の本堂。

☆ともしび会は、月額五百円の会費制です。(賛助会員募集中)。
ともしび新聞を毎月発行し続けていますが、皆さんの費用がかかります。賛助会員になって下さる方があれば嬉しく思います。会員には、ともしびを郵送させていただきます。(お電話下さい)



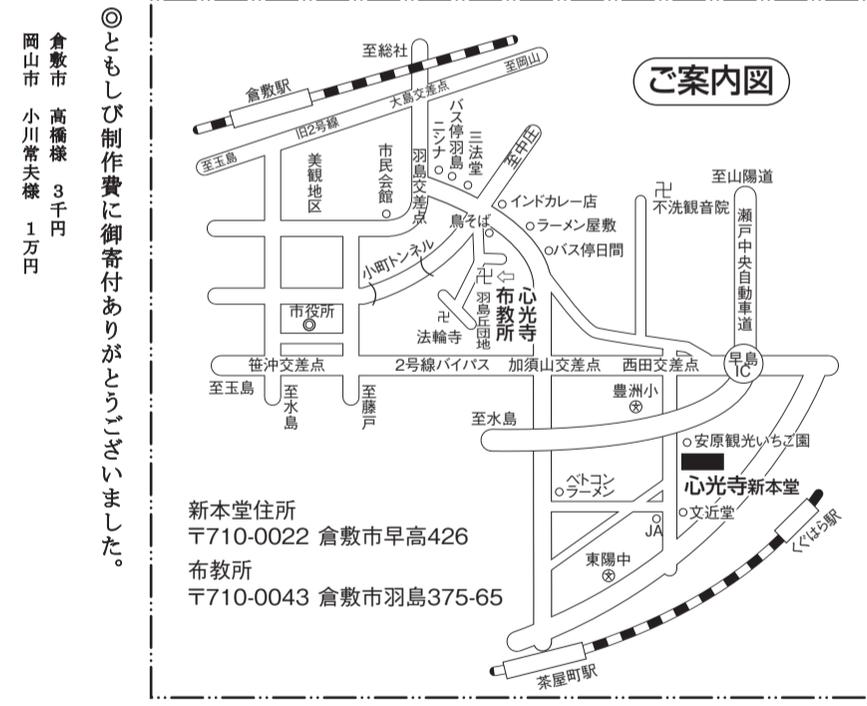
ともしびの詩

晩秋がきたよ
ハラハラさせた子供時代
ひどく孤独だった青春時代
普通の生き方がわからず
へんなおじさんで過ごした時代
ホメラレモセズ苦にもされず
わたしの晩秋を迎える



カット:吉岡美枝

浄土真宗の宗祖は親鸞聖人(しんらんしようにん)です。お葬式の時にあわてて葬儀屋さんに紹介してもらいより、自分でお寺は決めよう。



〒710-0022 倉敷市早高426
浄土真宗(じょうどしんしゅう)心光寺
TEL(086)420-1311 FAX 420-1322
携帯電話 (090)-2297-2504

★『ともしび』の毎月発行も、お陰様で「358号」となりました。心光寺は、誰でも気軽に来られる「心の雨宿りのお寺」を目標に頑張っています。11月3日の法要の日には、倉敷駅西ビル横の駐車場に9時40分、茶屋町駅西口に10時5分に、お寺より自動車でお迎えに行きます。車の送迎が必要な方は心光寺まで、ご連絡下さい。合掌 心光寺 総代長 三村 健